

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●福永祐一騎手がJRA年間100勝を達成

9月18日(土)の5回中京3日・第4レースではアスクドゥラメンテが1着となり、同馬に騎乗した福永祐一騎手(栗東・フリー)は、12年連続13回目となるJRA年間100勝を達成しました。今年のJRA年間100勝達成は、C.ルメール騎手、川田将雅騎手に次いで3人目となります。

●松山弘平騎手がJRA通算1万回騎乗を最速・最年少で達成

9月19日(日)の5回中京4日・第6レースでギブミーラブに騎乗した松山弘平騎手(栗東・フリー)は、この騎乗で史上45人目、現役では30人目となるJRA通算1万回騎乗を達成しました。デビューから12年6か月19日、31歳6か月19日での1万回騎乗達成で、これは三浦皇成騎手の13年5か月22日、31歳8か月4日をいずれも更新する史上最速および最年少記録となります。

●吉村圭司調教師がJRA通算200勝を達成

9月19日(日)の5回中京4日・第2レースではアナザーエデンが1着となり、同馬を管理する吉村圭司調教師(栗東)は、現役106人目となるJRA通算200勝(延べ2268頭目)を達成しました。

●スズカプレスト、ロジクライの競走馬登録抹消

2020年京都ハイジャンプ(J・GⅡ)の勝ち馬スズカプレスト(牡9歳/栗東・橋田満厩舎)は、9月9日(木)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は31戦3勝で、今後は岩手県遠野市の遠野馬の里で乗馬となる予定です。2018年富士S(GⅢ)などの勝ち馬ロジクライ(牡8歳/栗東・須貝尚介厩舎)は、9月15日(水)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は28戦5勝で、今後は北海道日高町のヴェルサイユファームで種牡馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●白山大賞典(金沢)で逃げたメイショウカズサがレコード勝ち

白山大賞典(JpnⅢ、9月22日、金沢、2100m)は、先手を取った5番人気のメイショウカズサ(川田将雅騎手、牡4歳、父カジノドライブ)が、2番人気のミューチャリー(船橋)を3馬身引き離して2度目の重賞制覇。3番人気のスワーヴアラミスが3着に入り、1番人気の昨年の覇者マスターフェンサーは4着、ヴェンジェンスは5着、ヒストリーメイカーは6着に敗れています。

●ティエムサウスダンがオーバルスプリント(浦和)で重賞3勝目

テレ玉杯オーバルスプリント(JpnⅢ、9月23日、浦和、1400m)は、2番手から3コーナー手前で先頭に立った2番人気のティエムサウスダン(岩田康誠騎手、牡4歳、父サウスヴィグラス)が、ティーズダンク(浦和)に2馬身差を付けて完勝。サクセスエナジーは7着、最内枠で包まれて中団からの競馬を強いられた単勝1.8倍で断然人気のラプタスは10着、初ダートのカツジは11着でした。

●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド園田の結果

2021ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド園田は9月22日に実施され、第1戦は木本直騎手(兵庫)、第2戦は永島まなみ騎手(栗東)が優勝しました。

●9月29日の日本テレビ盃(船橋)でクリソベルが戦列に復帰

日本テレビ盃(JpnⅡ、9月29日、船橋、1800m)は、約10か月ぶりの出走で状態面が鍵も、クリソベルが能力的には抜けており、以下ダウンファラオ、ノンコノユメ(大井)、ラストマン、メイショウダジンの順に有力視されます。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1ウッドバインマイルS～福元騎手がG1初制覇

9月18日にカナダのウッドバイン競馬場で行われたG1ウッドバインマイルS(3歳上、芝1600m)は、23歳の福元大輔騎手を背に逃げた地元馬タウンクルーズ(騾6歳、父タウンブライズ、B.グリアー厩舎)がアメリカからの遠征馬スペーストラベラーに2馬身¼差をつけて優勝。タウンクルーズ、福元騎手、そしてグリアー調教師はそろってG1初制覇となりました。タウンクルーズはグリアー調教師が父親とともに生産し、自らが所有する馬。重賞初挑戦となった前走8月のG2キングエドワードSは2着でした。

●G1カナディアン国際S～ウォルトンストリートが快勝

上記ウッドバインマイルSの1レース前に行われたG1カナディアン国際S(3歳上、芝2400m)はイギリスからの遠征馬で、L.デットーリ騎手が手綱を取ったウォルトンストリート(騾7歳、父ケーブクロス、C.アップルビー厩舎)が2番手追走から直線であっさり抜け出すと、最後はこのレース3連覇を狙った同じイギリスからの遠征馬デザートエンカウンターに5馬身¼差をつけて快勝。G1初制覇を果たしました。ウォルトンストリートは今年3月のG2ドバイシティオブゴールド(芝2410m)で重賞初制覇。続くG1ドバイシーマクラシック4着の後、欧州に戻ったの初戦となった前走8月のG1ベルリン大賞は3着でした。